

もりおか女性センターフェスティバル 2018

# 映画祭

2018.10.5(金)～6(土)

会場：プラザおでって 3F おでってホール  
(盛岡市中ノ橋通 1-1-10)

## ■上映作品

『あん』『ソニータ』『レッドマリア』  
『マララ－教育を求めて闘う少女』

※上映スケジュールは裏面をご覧ください

## ■ゲストトーク

前「もりおか映画祭」実行委員長

NPO 法人日本映画映像文化振興センター会員

山田 裕幸さん

## 前売券発売中

■チケット 1日共有券のみ 定員各 100 名

[プレイガイド] 9/1 (土) から  
プラザおでって 2 階 観光情報プラザにて販売

[前売券] 1,000 円

[当日券] 1,200 円

※託児付き (有料)・要事前申込

対象：6 か月から未就学の子ども

詳細はお問い合わせください。



©映画『あん』製作委員会/COMME DES CINEMAS/  
TWENTY TWENTY VISION/MAM/ZDF-ARTE



■この他、フェスティバルでは 利用団体活動紹介やセンター内クイズラリーを実施。

映画開催中、休憩室(3F 大会議室)でオリジナルラジオ番組 (ラジオ mjc♪) を放送します。

## 【お問い合わせ先】もりおか女性センター

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって 5F ☎019-604-3303

URL : <http://mjc.sankaku-npo.jp>



[主催]盛岡市、もりおか女性センター

[共催]もりおか女性の会

[後援]岩手県、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日報社、盛岡タイムス社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、ラヂオ・もりおか、マ・シェリ、情報紙ゆうゆう、独立行政法人国際協力機構東北支部、公益財団法人盛岡国際交流協会、盛岡市肴町商店街振興組合

## ■2日間の上映スケジュール

10/5 (金)	13:00~	オープニングセレモニー 映画上映『あん』(113分)
	15:15~	*GUESTトーク(40分)
	16:10~	映画上映『マララ-教育を求めて闘う少女-』(30分)
	18:30~	映画上映『ソニータ』(91分)

10/6 (土)	10:00~	映画上映『あん』(113分)
	13:00~	映画上映『レッドマリア』(98分)
	14:45~	*GUESTトーク(40分)
	15:40~	映画上映『マララ-教育を求めて闘う少女-』(30分)

## ゲストトーク

山田 裕幸さん  
(前「もりおか映画祭」実行委員長)

×  
もりおか女性センター  
センター長 平賀 圭子

「映画を見る楽しさ」や  
「女性センター映画祭の感想」  
など、お話しいただきます。  
**映画好きの方、必見!**

## ■上映作品

### あん/2015年・日本,フランス,ドイツ・113分

たくさんの涙を超えて、生きていく意味を問いかける  
「私達はこの世を見るために、聞くために、生まれてきた。この世は、ただそれだけを望んでいた。・・・だとすれば、何かになれなくても、私達には生きる意味があるのよ。」

縁があってどら焼き屋「どら春」の雇われ店長として単調な日々をこなしていた千太郎。その店の常連である中学生のワカナ。ある日、その店の求人募集の貼り紙をみて、そこで働くことを懇願する一人の老女、徳江が現れ、どらやきの粒あん作りを任せることに。徳江の作った粒あんはあまりに美味しく、みるみるうちに店は繁盛。しかし心ない噂が、彼らの運命を大きく変えていく...



### ソニータ/2015年・スイス,ドイツ,イラン・91分

沈黙のかわりに私は叫ぶ。  
絶望の淵に立たされたとき、あきらめない少女の歌は奇跡を引き寄せる。家族のために結婚を強いられる魂のラッパー、ソニータは歌い、自らの運命を変えていく-

ソニータの夢は有名なラッパーになること。しかし、パスポートも滞在許可証もない難民の彼女。一方で彼女の家族は全く別の将来を準備していた。彼女が16歳になると、アフガニスタンに住む親は、古くからの習慣どおりにソニータを見ず知らずの男に嫁がせようとする。迫られる強制結婚から逃れるため、そして有名なラッパーになるという夢を追うため、ソニータは自らの人生を歌うことで切り拓こうとする。



### レッドマリア/2011年・韓国・98分

—それでも女は生きている—  
韓国、日本、フィリピン、  
それぞれの場所のレッドマリアたち

本作品には、多様な形態の生活を送る女性たちが登場する。子供を産み、子供を育てる育児労働から、清掃し、洗濯し、料理する家事労働に至るまで、人生を続けるために毎日毎日行われる女性の「労働」は、その価値を社会的に評価されずにいる。また、性労働者、ホームレス、非正規職女性の「労働」に対し、この社会はその価値を認め、権利を保護しているのだろうか? 「レッドマリア」はこの注目されない女性の「仕事」を記録したドキュメンタリー。



### マララ-教育を求めて闘う少女-/2014年・イギリス・30分

一人の少女の言葉が、行動が、世界を変える

2012年10月、パキスタンの少女マララはタリバンに銃撃された。イスラム社会における女子教育の必要性を訴えて活動していた彼女は、タリバンの標的となっていたのだ。マララは危険な目に遭いながらもなぜ世界に訴え続けるのだろうか? 教育を受ける権利とは? 彼女の信念と素顔を見る。



**無料鑑賞!**

「マララ」のみ無料で  
鑑賞いただけます。